

平成 30 年 1 月 31 日掲載

<子供たちに税の使途について考える機会を提供した好事例>

小学生・税のウルトラクイズ大会

別府法人会（大分）

<活動対象> 小学生

<活動の概要>

- ・平成4年から毎年、税に関するクイズ大会を実施しており、今年で26回目を数える。
- ・別府税務署作成の「〇×式」のクイズ（約40問）に、別府市内百貨店玄関前の広場を移動しながら回答してもらう。
- ・市教育委員会を通じ、各小学校へ「大会チラシ」を配布し、広報を行っている。昨年の参加者数は約130名。
- ・企業、行政、団体から図書券や娯楽施設入場券等を協賛いただき、参加者全員に景品を贈呈しており、年々、参加者が増えている。

<参考資料>

別府税務署作成のクイズ

<摘要>

特になし

<出典>

同会からの情報提供。

※「同会からの情報提供」「過去の事例発表よりピックアップ」等の出典を表示します。

第 26 回
(平成 29 年度)

小学生 税のウルトラクイズ 問題 (全 42 問)

まずは「第 1 問」(音楽 ジャン!)…★☆☆☆☆(難易度)

全国の国税局や税務署では、国民の皆様に租税の意義や役割、税務行政に対する知識を深めていただくために啓発活動を行っていますが、毎年11月11日から11月17日には、集中的に様々な広報広聴策を実施しています。

では、この11月11日から11月17日を「税を考える週間」と言う。

正しいと思う人は○の方へ、間違っていると思う人は×の方へ移動してください。

さあ、みんなで考えよう!(音楽)

正解は・・・○です。

みなさんが参加している、このウルトラクイズも「税を考える週間」の活動の一環として、実施しています。

ちなみに、「税を考える週間」は、昭和29年に「納税者の声を聞く月間」としてスタートし、昭和49年に「税を知る週間」として今の同じ時期の週間になり、平成16年に今の「税を考える週間」に改称されたそうです。

～中略～

つづいて、「第 6 問」(音楽 ジャン!)…★★☆☆☆

公立の小学校に通う小学生一人に国と県と市町村が一年間に負担している金額は約50万円である。

正しいと思う人は○の方へ、間違っていると思う人は×の方へ移動してください。

さあ、みんなで考えよう！(音楽)

正解は…×です。

一人当たり約89万円が使われています。教科書、校舎の修理や先生の給料などに税金が使われています。

つづいて、「第 7 問」(音楽 ジャン!)…★★☆☆☆

大分県の予算で一番多く使われているのは、皆さんの学校関係の費用である教育費である。

正しいと思う人は○の方へ、間違っていると思う人は×の方へ移動してください。

さあ、みんなで考えよう！(音楽)

正解は…○です。

平成29年度予算で約1,221億円が使われています。全体の20%でもっとも多くなっています。